

奈良山岳会 会歌

酒井 兩虹 詩
山岸 貞一 曲

一

しょうけい
それ憧憬の夢はるか こうほうぐん
雲をつらぬく高峰群

はたや輝く処女雪の 山岳大和名において ああ燃えざらん大理想

奈良山岳 奈良山岳 我等の山岳 奈良山岳

二

りんぶ
輪舞は踊る御来迎 濃霧晴れたり原始林

いのちてっさ えんえん こつぜん
命鉄鎖に尾根越えて 延々踏破行くところ ああ忽然と大風雲

奈良山岳 奈良山岳 我等の山岳 奈良山岳

三

へきたんしじまきょうこく げきりゅういわ か
碧潭静寂峡谷の 明日は激流巖を咳む

まび か かい あざ せいじょうきょう
真日に花咲く山れんげ 花海の波も爽やかに ああ天涯の清浄郷

奈良山岳 奈良山岳 我等の山岳 奈良山岳

四

きょうしゅう とおのり やりつばめ
郷愁なじか遠乗りや 日本アルプス槍燕

せんこひきょう まぢかきみそら
千古秘境にうちかざす 間近き美空情熱の ああみなかみ旗仰ぎ見よ

奈良山岳 奈良山岳 我等の山岳 奈良山岳